

一般質問

12月定例会では、23人の議員が一般質問を行いました。
本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。
なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。
※掲載に時間がかかる場合があります。



鳥取県議会



// 会派正式名称 //

【自由民主党】 鳥取県議会自由民主党
【民主とっとり】 鳥取県議会民主とっとり
【公明党】 公明党鳥取県議会議員団

// 答弁者説明 //

答弁者は、記載のないものは知事（各部局長の答弁も含む）。教育長、警察本部長、病院事業管理者は知事の部局ではないため、別に表記した。



島谷 龍司
議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

**産業人口確保に向けて
観光振興について**

問 県内企業の人材確保のため、企業の魅力を伝え、若者が働きたいと思うような場を設けるべきと考えるが。

答 今回初めて企業トップと交流し楽しみながら地元で働く場を見つけてもらう鳥取若者産業交流フェスを開催する。

問 特定国へ依存しない多角的国際誘致客戦略の構築や観光ニーズ掘り起こし、長期滞在需要の創出などが必要だが。

答 カントリーリスクを避けるため多くの国へ様々なプロモーションを仕掛け、観光コンテンツを磨き中国地方一帯広域連携ビジョンを展開する。

前住 孝行
議員

選挙区 八頭郡
会派 無所属

**①クマ被害防止対策②
教育現場等の防犯対策**

問 ①本県のクマ対策の取組検証と今後の対策強化について、どうお考えか。強硬型の対策と併せて、柔軟型のクマを寄せつけない取組も検討してはどうか②防犯カメラの整備を学校だけではなく、幼稚園なども含めて広く推進していくべきでは。

答 ①クマとクマ人材のデータベースを強化し、ガバメントハンター（※）などクマ対策チームの組織化を目指す。クマ誘因の柿の木伐採などを一斉で対応する②これまで通り国庫補助事業を活用して推進していきたい。

村上泰二郎
議員

選挙区 西伯郡
会派 民主とっとり

**人権条例、国道431号
高架、風力発電**

問 表現の自由とバランスをとりながらも、成立させることが最も大切では。

答 言論弾圧と言われるがそうではない。具体的な人権侵害を受けて動き出し、鳥取県はあなたの人権を守りますというメッセージを発する。

問 国道431号高架案への日吉津村民の懸念を御存じか。

答 村が分断される懸念は胸に刻んだ。国交省は地元の事情も考え計画を決めて欲しい。

問 地元3町の風力発電反対にどう対応するのか。

答 林地開発許可は全集落の同意を前提条件とする。

河上 定弘
議員選挙区 米子市
会派 自由民主党

産業教育手当（※） 障がい福祉の人材確保

問 急務である専門高校の安定的な教員確保のためにも、全国で本県のみ不支給の産業教育手当を支給すべきでは。

答（教育長）産業界を支える人材育成のための専門高校の教員確保に向け、産業教育手当の予算を確保し、ぜひ実施につなげたい。

問 深刻な介護人材不足が続く中、取組が進んでいない障がい福祉分野での外国人材の具体的な活用への検討を。

答 外国人材登用で先行している高齢者福祉分野と同様に、現場のニーズに即して新年度に取り組んでいきたい。

山本 晓子
議員選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

①デジタル基盤 ②クマ等の鳥獣管理

問 ①鳥取県デジタルインベーションセンターは先進的で画期的。活用展望は②鳥獣管理ができる人材の育成と、鳥取県らしい人材確保を。市町村の鳥獣課題に寄り添える人材と体制を。

答 ①ビッグデータの活用方法を研究・協議し、設立に至った。ヒューマンネットワークをつくり、地域のデジタル革命を起こす②クマ対策チーム等、鳥獣対策の新しい組織を作っていく。人材育成に加え、正職員の募集もしたい。市町村向けにノウハウのひな形や指導体制を作る。

前田 伸一
議員選挙区 鳥取市
会派 公明党

①再犯防止（就労） ②砂丘漂着ゴミ対策

問 ①今後の再犯防止の施策の第一は就労の確保である。県が再犯防止計画で取り組む施策としている国との連携は②鳥取砂丘海岸の清掃ボランティアの現状と効果、またボランティアによる人力回収では困難な漂着ゴミ対策は。

答 ①国と県との連携を働きかけたが、国が難色。障がい者対策や県立ハローワークでの就業支援員サポートが精一杯②海岸清掃ボランティアの新たな仕組みを議論中。ドローンやビーチクリーナーを活用した効率的な回収方法を関係者と相談していく。

鳥羽 喜一
議員選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

鳥取版DOGE（※）を 学力向上に向けた取組

問 物価高と少子化に対応するため、既存事業や補助金を総点検し、財源の最適化をはかっていく必要があるのでは。

答 行財政環境を踏まえた重要な指摘であり、具体的な進め方は新年度に向け検討する。

問 全国学力テストで全校種・全教科が全国平均を下回った。学力向上策を問う。

答（教育長）学力向上に特効薬はなく、教師との信頼関係に基づく授業の充実が重要である。指導力向上と「分かった・できた」の確認を徹底し、市町村教育委員会と連携して覚悟をもって取り組んでいく。

前原 茂
議員選挙区 米子市
会派 公明党

難聴者支援 学校体育館の空調

問 要約筆記者の団体派遣はイベントが中心で、難聴者団体の会議への派遣が少ない。難聴者団体への派遣に考慮を願いたい。

答 難聴者が円滑に意思疎通を図れるよう支援方法を検討する。

問 体育館の新設や改築に合わせた空調工事では時間を要する。簡易的な遮熱新工法も含め、早期に検討すべき。

答（教育長）安価な方法で避難所にも耐え得る体育館の空調整備が進むのであれば、市町村にも情報提供しながら研究を進めていきたい。

語堂 正範
議員選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

当事者に寄り添った 不妊治療施策

問 不妊治療を受ける世代は、日常生活と仕事、そして治療の両立に追われている。具体的な方法まで理解が及ばず、制度に不合理を感じながらも、行動の仕方が分からないという声が私に届いた。シン・子育て王国としてさらに踏み込んだ措置が必要では。また、他県に先駆け、42歳までとしている年齢・回数制限の緩和・撤廃が必要では。

答 関係者の意見をよく聞いて、新年度に向け検討を進める。悩みながら奮闘されている方に対し、鳥取県は優しい子育て王国でありたい。

●とっとり県議会だより

玉木 裕一
議員選挙区 鳥取市
会派 無所属

- ①リヤド万博に向けて
②児相の職場環境改善

問 ①サンド・アライアンス(※)を活かし、リヤド万博に鳥取県パビリオンを出展し、鳥取の魅力を世界へ発信。令和の革新を積極的に実行し県内の経済成長へ繋げるべき②業務の棚卸、役割の見直し、夜間勤務体制の職員配置の再設計など全体を再度点検し総合的な改善策を示すべき。

答 ①出展は万博条約、外交で決まる仕組み。新しい交流のチャネルを、部局横断的に考えていきたい②足らざるところはある。待遇面も含め児童相談所の在り方を新年度に向けて改善を図る。

広谷 直樹
議員選挙区 岩美郡
会派 自由民主党

本県の持続可能な畜産・酪農について

問 ①本県の酪農家戸数の減少に歯止めをかけ、持続可能な酪農にする対策を講じる必要があるが②酪農ヘルパーの維持強化は必要不可欠であり制度の存続への対策を③県教委として、畜産酪農の将来を見据え、倉吉農業高校の取り組みをサポートしていくべき。

答 ①今後、持続可能な牛乳生産、酪農が進展するよう精一杯サポートをする②酪農家が仕事を続けられるよう国に働きかけを行う③(教育長)畜産酪農分野の持続可能性に寄与できるよう、倉吉農高への支援を継続していく。

市谷 知子
議員選挙区 鳥取市
会派 無所属

- ①児童自死事案②高市総理「台湾有事」発言

問 ①児童自死事案の再検証報告書に遺書が。「勝手に自立援助ホームに行くことにされた事に強く抗議し死の選択をした。人生が辛い。死の選択をしたのは、本施設の管理職の立場ある者と児相のせい」と。自立援助ホームへの措置変更が大きな引き金となり自死に至ったと報告。児相を管轄する知事は心から謝罪を②高市総理の「台湾有事は存立危機事態」発言の撤回求めて。

答 ①以前、慚愧に堪えないと申した。再発防止に向けやるのが責務②外交防衛は国の課題。コメントする話でない。

中島 規夫
議員選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

- ①219基の県内忠魂碑の扱い②語り部活動

問 ①戦争の悲惨さ・平和の尊さを後世まで伝えていくため、忠魂碑の維持管理に国・自治体が積極的に関与すべき②戦争体験を自身の言葉で語る姿を動画・冊子等で制作し語り継ぐ活動をどう考えるか。

答 ①戦争の記憶を残すため、県としても補助制度や事例を案内するなど側面的にも支援を行っていく②遺族会等と相談しながら、証言ビデオ収録等を今後も継続する(教育長)映像資料の平和教材としての活用を検討し、ぜひ校長会理事会等も含めて周知を図っていく。

森 由美子
議員選挙区 米子市
会派 自由民主党

- ①国スポ価値の創出
②県外生受入と住環境

問 ①国民スポーツ大会成功とまちづくり、健康や観戦価値を踏まえ持続可能な大会像をどう描くか②県外留学生増に備え、全県立高校で寮整備等の住環境をどう整えるのか。

答 ①五輪を見据えたジュニア育成理念の下、鳥取にいる不利をなくす。島根と連携し人材・会場を共有して準備を進め、大会成功へ着実に推進②(教育長)県外生は増加しており、全国初の自治体・県・教育委員会で連携協定を結び、住環境整備や地域活性化を推進。寮設置も含め運営面など様々な点で検討する。

西村 弥子
議員選挙区 米子市
会派 無所属

- ①労働法制②不妊治療助成制限開放③不登校

問 ①国の労働法制改悪に明確に反対し、県民の命を守る政策を強く要望すべき②年齢や収入で治療機会が奪われるのは人権問題。閉経の時間制限がある43歳以上の治療継続者から制限開放を③過去最多の不登校、適正な情報提供の為リーフレットを作り学校・家庭・地域へ配布を求める。

答 ①議員の問題意識は共有する。今後の動向を注視し具体案を基に声上げるか考える②詳細検討の時間を頂き、当初予算で相談する③(教育長)賛成する。どんなことができるか検討を重ねて参りたい。

銀杏 泰利
議員選挙区 鳥取市
会派 公明党

**①空港コンセッション
②やきとりフェス倉吉**

問 ①鳥取空港コンセッションの優先交渉権者は県外企業に選定。契約には県内企業との協力関係が条件だが、できなければ地元との関係が心配。地域振興・経済活性化に繋がるように②やきとりフェス成功は焼き鳥自体の大きな集客力を証明したが、評価は。

答 ①協力が得られなければ次点交渉権者と手続きを進める。優先交渉権者構成員の追加は、実施契約締結後は可能。締結前でも優先交渉権者自身からの申し出は制限しない②大成功、来年以降もしっかりフォローしたい。

山川 智帆
議員選挙区 米子市
会派 無所属

地域公共交通持続のために県でデキルこと

問 公共交通施策について、人口減少が進む中、生活圏で移動手段を考える必要があるため①バス・運転手の共同利用や花回廊巡回バスの停留所の追加②市町村をまたいだデマンドバス活用の助成制度等の費用負担③先進事例の情報共有や他県での自動運転バス事故などを踏まえたインフラ整備の対応を検討しては。

答 ①地域ニーズを把握し、関係者と話をしてみたい②市町村と協議し、今後の支援の在り方を検討したい③コミュニティでの公共交通のバージョンアップを目指したい。

興治 英夫
議員選挙区 倉吉市
会派 民主とっとり

高校無償化と県立高校教育改革

問 ①18億円基金で取り組む県立高校改革の方向は②高校学科再編に交付税措置も受けられる。産業界との連携協定締結を③鳥取大学と連携して、高校でアントレプレナーシップ教育（※）を④特別教室へのエアコン設置や部活動環境改善など、施設整備を。

答 （教育長）①専門高校等の設備や機材の整備など、産業界・地域と連携し、戦略立てて向かう②関連企業の意見を聞き、連携協定を検討する③起業家精神を養うため、前向きに検討して進める④生徒目線で環境改善に努めたい。

浜田 妙子
議員選挙区 米子市
会派 民主とっとり

**①米子水鳥公園の充実
②困難を抱く人に配慮**

問 ①米子水鳥公園誕生20年ラムサール条約登録30年。100年後を見据え、県下全ての子が触れ学ぶ場として充実を願う。米子境港高速道予定コースを危惧②相談支援窓口や民間支援事業所の専門性が問われ、人材確保や育成支援が必要。また、視覚障がいやロービジョンの相談窓口職員はレベルが高く、正職員にすべき。

答 ①自然環境を優先し国政をも変え守って来た。未来に向け残すメッセージだと思う。高速道は重要な指摘であり国に伝える②第三者的に県も関わりチェックし相談をする。

福浜 隆宏
議員選挙区 鳥取市
会派 無所属

**虐待疑い年間400件
予防と更生支援強化を**

問 虐待したくてする親はない。予防のペアトレ（※）と虐待した親の更生プログラムを充実させ、温かい社会を。

答 子どもの褒め方、気づかせ方などの伝授とカウンセリング等を模索し追求していく。

問 法改正で親権者の体罰や暴言も禁止に。しかし拭い去るのは相当困難。支援強化を。

答 アンケートでは、現在でも実に4割の家庭が、体罰を必要に応じてやると回答。社会全体で子どもとの向き合い方を変える必要がある。個別の対応を児相・市町村・教育機関・家庭と一緒に進める。

内田 博長
議員選挙区 日野郡
会派 自由民主党

**林業関連
インドとの交流**

問 ①林業技能検定制度の普及に向けての支援を問う②県産材の利用拡大に向けて新たな施策の拡充が必要では③インドのオリッサ州との交流を具体的に進めては。

答 ①技能実技試験の際の旅費や検定料の支援をしている②非住宅の木造化や規模の大きいものにも木材利用を推奨していく③オリッサ州との交流開始に向けて検討を始める。関係者がインドから来日され、お互いパートナーシップを検討するのであれば、正式な交渉に向けて進むタイミングである。

●とっとり県議会だより

用語解説

3ページ

● ガバメントハンター

クマ等の捕獲を専門的に行う、狩猟免許を保有する公務員。

4ページ

● 産業教育手当

産業教育に従事する工業・農業・水産業の専門高校教職員に支給される手当。

● DOGE

政府効率化省 (Department of Government Efficiency) の略。

5ページ

● サンド・アライアンス

大阪・関西万博において「砂」を共通のモチーフとする8パビリオンと締結した国・地域間同盟。

6ページ

● アントレプレナーシップ教育

起業家精神とも呼ばれる、自ら枠を超えて行動を起こし新たな価値を生み出していく精神を育む教育。

● ペアレントレーニング

環境調整や子どもへの肯定的な働きかけを学び、子どもの適切な行動の促進と不適切な行動の改善を目的とするトレーニング。

7ページ

● ネイチャーポジティブ (NP)

自然環境を保全するだけでなく、生物多様性の損失を防止し、回復させること。

用語解説



野坂 道明
議員



選挙区 米子市
会派 自由民主党

①NP（※）宣言後 ②県市プールの統廃合

問 ①9月議会の提言を受けネイチャーポジティブ宣言と官民連携組織のプラットフォームが始動した。今後どのように社会実装を進めるのか②東山公園で米子市と連携しプールの統廃合を進めては。

答 ①提言を機に行政だけではなく投資家や都市部を巻き込んだ実験モデルの確立を目指し、投資メニューを整備し関係者と戦略を練りながら先手を打って社会実装を推進する
②対等な負担関係から丁寧に議論し、まとまれば一緒にやる。国スポのスケジュールのずれも念頭に協議の場を考える。



伊藤 保
議員



選挙区 東伯郡
会派 民主とっとり

記録的な不漁 沿岸漁業の存続対策は

問 沿岸漁業は、近年減少傾向にある中、今年は記録的な不漁で、8月までの水揚げ量は、前年の78%と落ち込んでいる。中でも、主力魚種であるハマチは前年の1割と極端な不漁。今後の沿岸漁業の存続対策は。

答 4年ほど前からブリ、ハマチの子の激減が観測されており、海水温の変化に近県を含めてその異変に恐怖を覚えているところである。現場の皆さんと話をさせていただきながら、望まれる対策や、漁法の転換などについて考えていきたい。

高校出前講座



鳥取県議会では、主権者教育の取組として、新たに有権者となる高校生に議会や議員を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るため、議員が学校現場を訪問し、身近な行政課題等について高校生と意見交換を行う高校出前講座を開催している。

今年度は、10月16日に県立鳥取商業高校（鳥取市）で開催し、議員が同校1年生約150人と「議員に伝えたいこと、聞いてみたいこと」をテーマに活発な意見交換を行った。

参加した生徒からは、「議員と話すという機会が新鮮で面白かった」「テレビの中の人のイメージがあったが、親しみやすく親近感が湧いた」「自分が選挙に行ける歳になったら、しっかり調べて生活をより良くしてくれる情熱、方針を持った人に一票入れたい」など、出前講座の取組に対する評価や、感想が多く寄せられた。



高校出前講座は、鳥取県議会として、来年度以降も引き続き実施していくこととしている。